

技術で豊かなまちづくり

平成19年1月1日

# 高知土木技士

No.40

(社)高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館5F TEL 825-1844]



平成17年度表彰 国土交通省 四国地方整備局 優良建設工事

施 工

田邊・若竹経常建設共同企業体  
株式会社 田邊建設

工 事 名

平成17年度 中村堤防その2工事

場 所

四万十市中村

現場代理人

萩原康史

## 土木施工管理技士会倫理綱領

会員は、国家資格者として誇りと品格を持ち、  
常に自己の資質と技術の向上に努め、  
社会に貢献すること。

### (誇りを持とう)

1. 土木技術の国家資格者として誇りを持って行動し、日頃から技術の研鑽けんざんに励むこと。

### (技術力を活かそう)

2. 技術者として自己の専門的知識及び経験をもって良質な物を作ること。

### (公正な行動をしよう)

3. 携わる事業の性質から、公正・清廉たつとを尚び、広く模範となる行動をすること。

### (ボランティアに参加する等、社会に貢献しよう)

4. 技術者として知識・経験を活かし、災害時等はもちろん、ふだんの生活においても、地域活動や社会奉仕に積極的に参加するよう努めること。

# 謹賀新年

(社) 高知県土木施工管理技士会

会長 宮田 益吉

明けましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとりまして希望ある輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平素より当技士会の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、後半では、いざなぎ景気を超えたといわれましたが、どうも実感の伴わない景況でした。確かに東京、大阪、名古屋等大都市圏では雇用環境好転、企業収益の増大もみられ政府見解の景気回復は順調そのもので推移して参りました。

そういった中で、小泉内閣の構造改革では公共事業を削減、予算は16年前の水準になり、景気対策は低生産部門から高生産部門に資本を展開、リストラなど合理化が進み、大企業、都市銀行中心での高収益であり、結果、都市と地方の経済格差が大きく開いており、地方とりわけ高知県は昨年10月の有効求人倍率が全国最下位となるなど、雇用情勢は悪化、景気回復の遅れが現状で、特に公共事業への依存度の高い建設業は厳しい1年でした。

新年こそ地方の活性化、中小企業の活性化へ地域に根差した建設業でありたく考えています。特に高知県の社会資本整備は道半ばであり、国土交通省の国土形成計画による、07年6月に全体計画が示され、閣議決定し地方計画の策定が始まることへ期待するところであります。

このことは、新規投資の建設市場規模増加への希望と共に、一層、経営や技術に優れた建設業として、技術力の蓄積が重視されるものであり、加え、高知県において、技術力に優れた企業の入札参加促進と、談合防止など透明性の確保をも目的とした、07年度の公募型指名競争または一般競争で入札する請負対象金額が7,500万円以上の全ての工事で、総合評価落札方式の採用が検討されており、これ等への対応に各企業は備えなければなりません。

このため、高知県土木施工管理技士会は資格取得を目指す技術者への受験準備講習会をはじめ、土木施工管理技士が自身の技術力アップを体系的・具体的に推進する継続学習制度(CPD S)での指定技術講習会を開催しており、自己研鑽の場として一層の充実を目指しております。

同時に建設業法における監理技術者講習の制度改正などによる、土木技士会の監理技術者講習も3年目を迎え、技術力の向上等において当技士会の果たすべき役割はますます重要になっております。

新年度におきましても土木施工管理技士が技術力向上と社会的地位の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献することを目的とする私ども技士会の事業活動へ積極的に取り組んで参りますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、各関係団体のご指導とご支援を賜りますことをお願い申し上げ、会員皆様方のご健勝・ご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

高知県土木部長 宮崎利博

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

高知県土木施工管理技士会の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと存じます。

また、平素から土木行政をはじめ県行政の推進につきましては、ご理解を頂き、格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新しい年が明け、すぐに新しい年度が始まります。平成19年度につきましても相変わらず厳しい予算で臨んでいくことになりそうです。土木部の予算は、ピークであった平成10年度の当初予算の半分以上の水準まで落ち込む見込みです。

土木部としては、このような厳しい状況下においても、以下の3つの事業を優先して、予算編成を行いました。1つは「四国8の字ネットワークの整備促進」、2つめは「南海地震への備え」、3つめは維持管理の充実として、「所長裁量予算の拡大・拡充」です。少ない予算ながらもメリハリの利いた内容で取り組んでいきたいと考えています。

また、行政改革プランにもとづき、予算の削減とともに組織のスリム化にも引き続き取り組んでいきます。平成19年度には、港湾空港局が17年ぶりに土木部へ統合され、さらに大きな組織体制となりますが、本課の統合もあわせて行い、現在と同じ15課体制で臨むことになりそうです。

一方、平成19年度には、新しい入札制度の取り組みとして、品確法に基づく、総合評価方式の本格的な運用を行っていきます。平成18年度には10数件ほどの試行を行っておりますが、本年度からは7,500万円以上の工事について適用を図りながら、従来の公募型規模の工事についても試行を行っていきますので、施工管理技士としての役割も大きなものとなってくると思います。

本県の社会資本の整備水準はまだまだ十分とは言えず、これからも着実な整備を進めることが必要であり、限られた予算を効果・効率的に投資するとともに、既存の施設を有効に活用するための適正な維持管理を行っていくことも必要です。そのためにも、良質な社会資本を整備していかなければなりませんので、日頃から技術力の向上と発展に積極的に努められている貴会の役割は、これまでも増して重要となっております。

今後とも貴会のご支援を頂きながら、「県民の生活を支え、安全を守り、環境を保全し、活力を増進する」ための社会資本の整備に努めて参りたいと考えています。

高知県土木施工管理技士会のますますのご発展と、会員の皆様にとって実り多き年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 年頭のご挨拶

研修委員  
川田建設株式会社高知事務所  
部長 吉田英央

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

社会資本整備を取り巻く環境は非常に厳しく、また経験したことのない厳しい財政改革が示され、公共事業の一層の効率化と重点化が求められています。これまでの社会資本整備の在り方に対して批判がなされ、公共事業の透明性の確保が要請されています。

また社会的には、いじめ問題や凶悪事件が相次ぎ、経済的には景気の二極化が続く中、建設業の経営破綻、銀行や証券会社等、大企業を中心に最高益の中間決算が続いているにもかかわらず、地方では景気回復を実感できないという状況を呈しています。

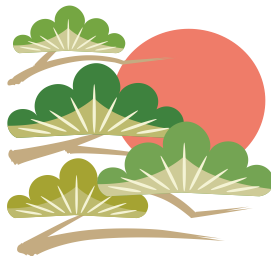
今こそ、県民の公共事業に対する認識と理解が深まるよう、建設業に携わる私たちによる地道な努力が新たな社会資本整備への一歩ではないでしょうか。

今日の厳しい財政制約のもと緊急かつ多様なニーズに対応していくためには、ひとつひとつの事業について、用いられる土木技術や施工時の一層の創意工夫、土木技術の発展そして地域住民の方々の理解を得る努力が最も重要であると考えます。その意味で、皆様方会員の役割は一層重要となります。

どうか、土木技術の発展と社会資本整備を支える自負と気概を持って仕事に取り組み、地域の発展に貢献してほしいと思います。そのためには、一層の技術力の向上はもとより、仕事上の処理能力の研鑽等の努力が必要であることは言うまでもありません。

研修委員会としても、皆様の要請や課題に応えられるよう、活動の実施に努めてまいりますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

終わりに、それぞれの地域のご発展と皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



★ 技術コーナー ★

第10回土木施工管理技術論文 作品紹介

都市高速の床版工事の荷揚げ方法及び資材運搬について

大旺建設株式会社 高知本店 坂口 貴史

1. はじめに

私が担当した工事は、名古屋市の北部、名古屋市内と名神高速道路を結ぶ名古屋高速道路で、一般国道22号に高架構造で併設される自動車専用道路「名岐道路」の内、前工事で架設された鋼製桁上にコンクリート床版を施工する工事であった。

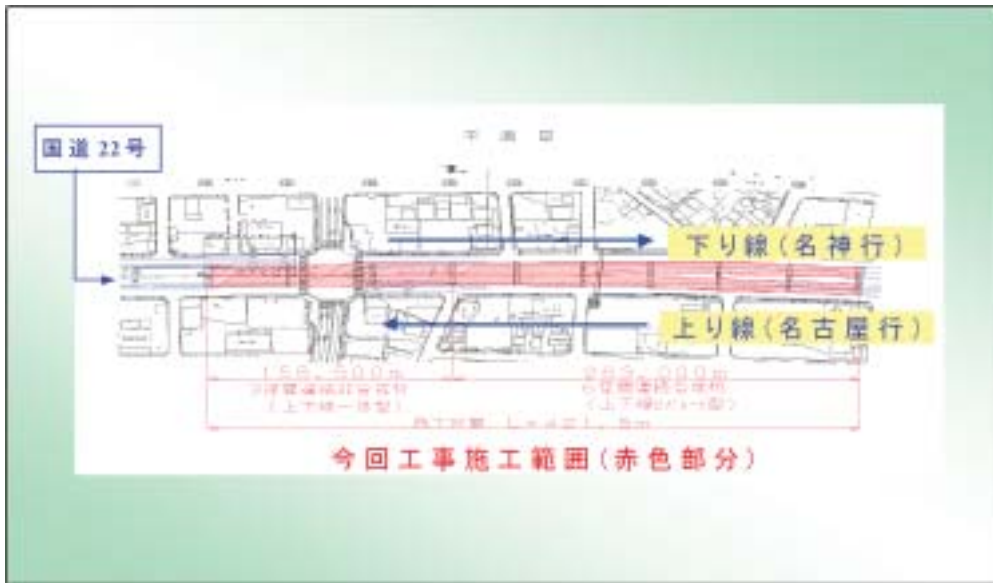
本工区の桁は6径間連続RC合成鋼鈹桁と3径間連続RC非合成鋼箱桁の2種類であり、鈹桁・箱桁ならびに合成・非合成という種類の異なった構造が採用されている。工事を進めるにあたり、事前に設計図書の照査及び綿密な施工計画を立て、品質・出来形管理および現道上という現場条件から第三者への影響や工事の大半が高所作業という観点から、墜落と落下物の防止に重点を置いた日々の安全管理に努めた。この道路は「愛・地球博」の開催および「中部国際空港セントレア」の開港に合わせたアクセスとしての位置付けもあり、早期完成に向けての工程管理・工期短縮に努めた。

2. 工事概要

- (1) 工 事 名：県道高速清洲一宮線西春南（その1）工区床版工事
- (2) 発 注 者：名古屋高速道路公社
- (3) 工事場所：愛知県西春日井郡西春町大字中之郷地内
- (4) 工 期：自 平成15年8月26日 ～ 至 平成16年9月30日
- (5) 工事内容：RC床版・RC壁高欄

工事延長；422m 床版面積；8,579m<sup>2</sup> 高欄延長；1,526m  
3径間連続RC非合成鋼箱桁橋 1連  
6径間連続RC合成鋼鈹桁橋 2連



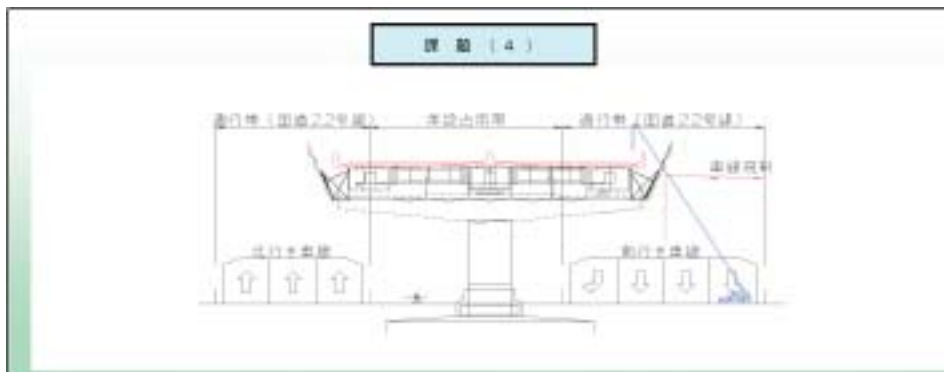


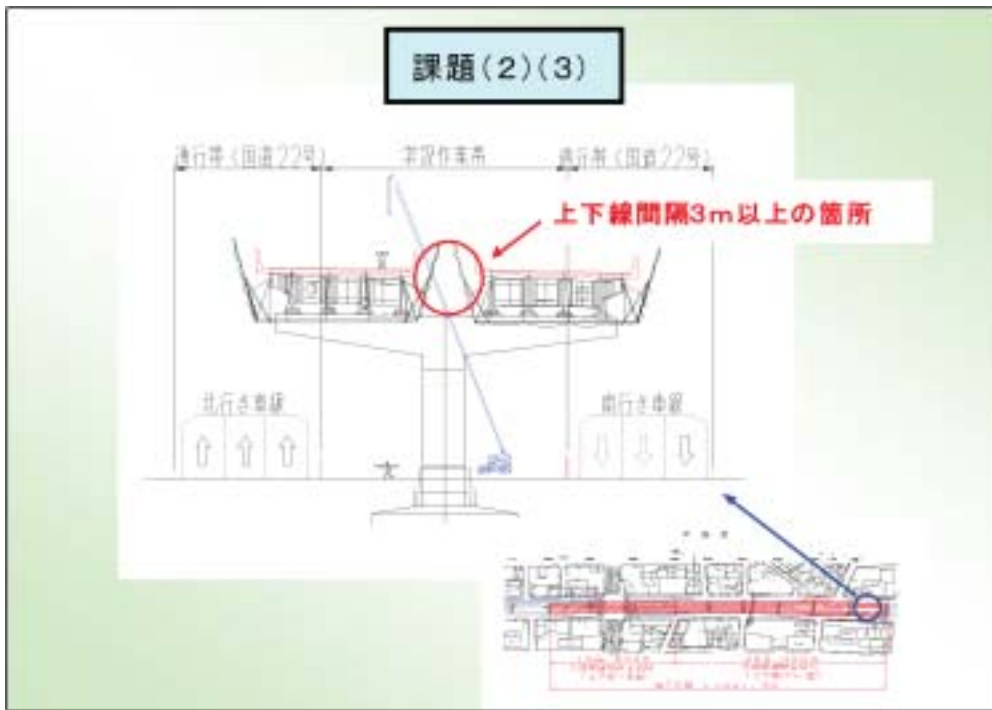
### 3. 現場における課題・問題点

床版型枠組立後の鉄筋の荷揚げ場所および桁上での組立場所への運搬方法について下記のような内容を課題・問題点として捉えた。

- (1) 箱桁の構造は上下線が一体型であり、落下防護施設も全面張りのために通常行われる工事占用帯から組立場所付近への荷揚げが不可能である。
- (2) 鈹桁の構造は上下線がセパレート型であるが、その間隔は0.5mから5.0mであり、工事占用帯内でのクレーン作業が可能な場所（間隔が3 m以上）は工区の端部に限られる。
- (3) (2)の場所から荷揚げを行うと、桁上で組立場所までの運搬距離が長くなり、効率的な運搬方法でなければ工程に影響する。
- (4) 国道（22号）を夜間車線通行規制をし、落下防護施設の外側から荷揚げを行えば組立作業場所付近に荷下ろしが出来るが、作業が夜間に限られる。

これらの事から、(4)について検討すると、①車線通行規制を行うと主要国道であり道路利用者や近隣住民に迷惑をかけること②資材の落下など第三者災害も懸念される③規制や照明等の設備、夜間労務および夜勤体制などの費用負担が大きい等、現場としては避けたい内容になる。このことから(2)、(3)の事項を踏まえ、荷揚げ場所を一ヶ所に固定し、桁上で組立場所までの効率的な資材運搬方法を模索・検討した。





#### 4. 対応策・工夫改良点

荷揚げ場所を端部一ヶ所に固定し、鉸桁部の資材運搬は運搬距離が比較的短いことから手押し台車による人力運搬で施工したが、箱桁部については、約340mの運搬距離を効率的で安全に運搬できる方法として以下の検討を行った。

(1) 小型のフォークリフト等により鉸桁部床版上を運搬する

- ・タイヤによる集中荷重が床版に悪影響を与える
- ・転倒や周囲の作業員への接触等、危険が懸念される
- ・資材の置き方や移動速度が定まりにくい

これらの事等から不向きである。

(2) レール方式で台車を使用して鉸桁部床版上を運搬する

- ・レールを床版支保工根太材の上方に設置する事により、床版への負担が軽減される
- ・定まったレール上を移動することで、転倒や他の作業員に対する危険性が少ない
- ・移動をゆっくりとした一定の速度にすることが出来る
- ・運搬台車は動力式に出来る

・台車の構造はシンプルとし、台車部材は簡易な構造で、且つ分解・組立が出来る  
上記内容から(2)を採用することとした。

構造は、①シンプルな構造とし組立・分解が容易なこと②最大積載重量は施工班数及び組立作業量から勘案し2tまでとする③動力駆動方式とする④長尺鉄筋(最長12m)の運搬が可能とするため台車は2台連結構造とすることとし、これらを踏まえ、構造詳細設計にあたっては、資材リース会社や門型クレーン製作鉄工所を含め、検討を行い製作を行った。

1台のベース台車には、発電機と電動モーターを組合せた駆動装置を付け、ベース台車



間はI型鋼で繋いだ動力式運搬台車とした。移動速度は門型クレーン程度で運転でき、モーター回転切替スイッチにより前進・後進運転が出来る。又、運搬走行時の安全性を確保するため、運転警報音を鳴らし周囲の作業員への注意喚起が出来るように工夫した。



この運搬台車を採用することによる作業性および経済性は、人力運搬の場合の200kg／回に比べて2000kg／回と効率的であり、これに相应して経済面でも人力運搬の費用の約半分となり、遥かに優位であった。今回の運搬方法を採用する事により、現道の通行規制を行わず安全に、且つ、工程を短縮することが出来た。

## 5. おわりに

現場を運営するにあたり、効率的かつ経済的な方法を採用することは誰もが考えることであり当然の姿と言える。言い換えれば現場運営とは方法の選択である。しかしながら従来の方法の中からのだけの選択では進歩発展は見られない。特に仮設については本体工事を如何に効率よく予定通りに進めて行くかその役割は大きい。今後も現場では問題意識を持ちヒラメキを大事にし、「そんな物があればいいなあ〜」という単なる空想や会話で終わらせることなく、協力業者とも協力して施工方法の模索・検討に取り組んで行きたい。



### さか ぐち たか し 坂 口 貴 史 氏 プロフィール

会社名	大旺建設株式会社 高知本店
施工役職	現場代理人
学歴	広島工業大学 工学部 土木工学科 卒業
資格	1級土木施工管理技士、監理技術者 測量士補、甲種火薬類取扱責任者 (社)高知県土木施工管理技士会 会員

＊ 会員の広場コーナー ＊

## 平成17年度 中村堤防その2 工事

株式会社 田邊建設

土木部 萩原康史

本工事は堤防改修工事であり堤内には四万十市の中心市街地が形成され、治水上最も重要な区域である為、不足している堤防幅を整備、拡張する工事でした。

また以前よりあった堤防沿いを走る市道堤防廻り線は道路幅員が狭く頻繁に大型車輛が往来する為、朝夕のラッシュ時には慢性的な交通渋滞が発生しており、堤防拡張と市道改築を一体的に整備する事がこの線の長年に亘る市民の要望事業でもありました。



- ① 今回の工事で一番問題となった点は工程管理で、実質の施工期間が3.5ヶ月しか無い中、施工延長が約1,260mと非常に長い他、現道の片車線を一般開放して施工をしなければなりません。また既設道路の取壊し・堤防の拡幅盛土そして市道の付替え工事と多くの工種が混在しており、一番にロスのないクリティカルパスを早期に設定し、人員・材料の確保、調達を確実にを行う必要があります、その為には下請負業者との工程打合せを施工前は当然のこと施工中も打合せの頻度を多くし、その都度対応し問題解決を計る方法を採用した結果、計画工程通りに施工を進行させることができました。

また直営の作業員の他に下請負業者数も施工ピーク時には9業者と増員し、長い施工延長に対応しました。

次に問題となった点は、現場終点側約220m区間の舗装打替え工で、当初設計では路盤まで一度舗装を剥ぎ取り新たに路盤から舗装を行う計画であったが、施工場所が市道と国道が交差する箇所であった為交通量も非常に多くまた、一般の住宅が密集しており、当然夜間作業は工事に伴う騒音等が発生する為、不可能でした。かといって昼間の施工も片車線を占有して行う作業のため、一般車輛の交通量も多い場所で既設舗装を剥ぎ取り新設する作業は時間が掛かり過ぎることから一度に220mを施工することも困難でした。

その為、一度で220m施工可能な方法を検討した結果、既設舗装版を試掘したところ、厚さが20～30cmあり全てを取り壊す必要が無いと判断し、表層の5cm分のみ切削しオーバーレイを施すことにしました。その結果、一度で220mの区間を施工することができ、工程短縮を図る事が出来ました。



- ② 次に工程管理と同じく重要視されたのが安全管理でした。前段でも述べたように、施工区間全ての片車線を開放しての作業の為、右車線を施工する時は左車線を一般に開放し、逆に左車線を施工する時は右車線を開放しなければならず、道路の切替を何度も行う為、通行者への安全対策は昼夜問わず大変でした。また市道の付け替え工事の他にも、堤天道路（管理道）は近くに小・中・高校がある為、生徒の通学路として利用されており又、川を見ながらの市民の散歩コースとしても以前より使われておりました。その為、堤防の拡

幅工事中の自転車・歩行者の安全対策も徹底した管理が必要とされました。

先ず市道の付け替え工事に対する安全対策として、施工時間帯の交通量を車の種類別に細かく調査し、その結果を基に交通整理員の適正な配置・予告看板・安全施設を設置した他、交通量の多い曜日や時間帯、少ない曜日や時間帯にあわせた適正な施工箇所・工事内容を予め選別して工事を実施しました。また車線変更や幅員が減少する場所には最徐行をしてもらうよう、体感マットを設置し、一般車輛に注意を促したところ、成果をみる事ができました。

また作業員には第三者災害の防止に努めるよう日々の安全ミーティングの中で周知・徹底を図っていき、特に重機作業時の見張り員の配置、重機旋回時等に一般車輛と接触事故が発生しないように注意をする事は当然のこと、作業を行う方向の統一性、そして旋回時の道路と反対側への動作等、一般車輛に圧迫感を与えない方法を現場規則として徹底しました。

また、堤天道路利用者への安全対策として、今回の施工範囲から外れる堤外側に迂回路を設置しました。迂回路は堤天道路と違い幅員が狭い事から、歩行者・自転車が路肩から転落しないよう転落防止柵を約1.0Kmにわたり設置し、第三者事故防止に努め万全な対策を実施しました。

こうした取組の結果、厳しい工程ではありましたが、発注者当局及び区長を初めとする市民の方々の御指導と御理解、御協力もあり、無事故、無災害で工事を完成させることができたことは当事者として感無量であり感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に下請け協力業者さんには、色々な御無理に対して御理解、御協力を頂きこの場をおかりして御礼申し上げます。



## \* 委員会コーナー \*


 モグラの戯言
 

研修委員 隅 田 吉 昭 (四国開発(株)取締役)

新年明けましておめでとうございます。

2007年はいよいよ団塊の世代が定年退職を迎えます。所謂、2007年問題と言われるもので短期間に700万人弱が退職することになり労働力人口の減少が急速に進んでしまい、一般に豊富な経験があり、知識もあり、技術力もあると言われていた世代が一気に退職してしまうと一時的にせよ労働生産性も大きく低下します。

こういった面からも企業は現役世代にきちっと技術の伝承を伝えることに注力すべきであり、又新たな技術開発によって労働の生産性の低下をくい止め、維持し場合によっては拡大していくことが急務であると思います。

折しも、この原稿を書いている時が高校生のインターンシップ（企業実習）の最中でした。実習の内容としてはレベルや光波測距儀を使つての測量実習が主体でした。我々が若い頃にはトランシットとテープで測量し電卓なども今ほど普及しておらず、ましてやパソコンなど。しかし時代は今や電子納品が主流でこういった技術の発展には目覚ましいものがあります。

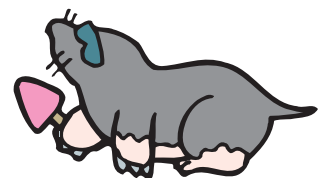
しかしもっと時代をさかのぼれば、あの伊能忠敬は55歳（西暦1800年）から73歳に至る18年間で日本全土の測量・地図製作という大事業を成し遂げています。忠敬は49歳で隠居したあとは一転して19歳年下の歴学者高橋至時に入門し歴史・天文を学び、日本全国約4万キロの測量旅行の後、日本最初の実測日本地図を遺しています。その方法は歩測や間尺縄を使った原始的なものであり、その正確さには驚かされます。

それはさておき、これらの技術の発展には団塊世代の活躍を見過ごすわけにはいきません。団塊世代のみなさんお疲れさまでした。退職後は四国八十八箇所を歩き遍路される方もおられるでしょうが、歩測でお寺間の距離を測ってみるのも一考では。

高知県の建設業界においても今まさに氷河期といえるでしょう。これを溶かすのは地球温暖化ではなく若い技術者の情熱に他ならないと思います。

「男子三日会わざれば刮目して見よ」

これらの若い技術者の5年後、10年後の活躍を期待します。



## 実施行事報告（抜粋）

### 1. 1級土木技術検定試験「実地」受験準備講習会開催

平成18年度1級土木技術検定「実地」試験、受験予定者へ合格を目指す短期集中の2日間コース講習を、18年8月29日～30日に会場を高知県教育会館「高知城ホール」で開催しました。

受講者は記述式試験の解答のコツをつかむため「演習問題」を交え、設問に対して簡潔に要領よく記述できるよう講師の解説に真剣に取り組んでいました。

（1級土木実地試験の合格発表は、平成19年1月19日（金）です。）

### 2. 2級土木技術検定試験「学科・実地」受験準備講習会開催

本年度より2級土木技術検定試験は従来の7月実施より10月に変更となり、また、試験会場も高知市開催となりました。受験準備講習会も試験直前の講習として18年9月26日～28日に、会場を「高知城ホール」にて、受講者62名は合格するために必要な知識を経験豊かな講師より、過去問題にチャレンジと問題に慣れる訓練などの講義に取り組みました。



2級土木受験準備講習会

（2級土木検定試験の合格発表は、平成19年2月16日（金）です。）

### 3. CPDS指定技術講習会県内3ヵ所で515名の受講者

土木施工管理指定技術講習会を昨年同様、高知市・四万十市・安芸市と県内3ヵ所で開催し、会員技術者が資格取得後も常に技術力の向上を目指し、建設現場での安全管理を心得る機会となる講習会へ多数の参加をみ、高知県の建設工事入札参加資格審査における「地域点数」へ評価となる、『技術研修の実施』基準へのCPDS学習履歴（UNIT数）が登録された。

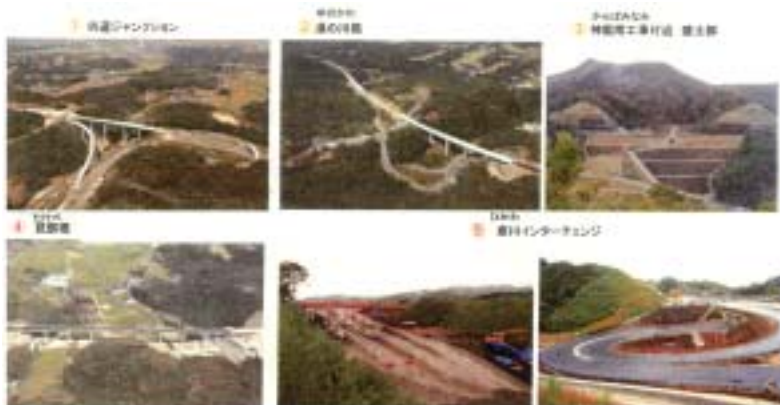
※ 教科テーマと講師を紹介します。

テ ー マ	講 師
建設工事現場の安全管理	ミタニ建設工業株式会社 安全環境対策室 室長 今久保 正 博 氏 高知労働局 労災防止指導員
建設工事現場におけるこれからの安全管理	四国開発株式会社 安全対策室 室長 田 内 孝 也 氏 労働安全コンサルタント 高知労働局 労災防止指導員
コンクリート構造物の長寿命化にむけて	日本技術開発株式会社 大阪支社 四国営業所 技術部長 田 村 嘉 範 氏 技術士 (建設部門)

#### 4. 県外建設工事現場見学技術研修会実施

平成18年9月21日(木)に、島根県松江市において、西日本高速道路(株)中国支社新直轄自動車道路建設工事での自然環境保護対策による橋梁・トンネル・盛土工事と多岐にわたる工事概要を、建設監督官の工務課長から熱心にご指導を受け、質問も活発で意義のある研修となり、参加者41名は技術力の向上に大きな力となりました。

工事現場 山陰自動車道(鳥取益田線)宍道ジャンクション～斐川インターチェンジ間



建設工事現場



見学会参加者

## 5. 中国・四国土木施工管理技士会連合会「ブロック協議会」「技術交流会」開催される

平成18年11月9日（木）島根県松江市で開催された。その概要を報告します。

中国地区技士会の開催担当（島根県土木施工管理技士会）で、中国5県四国4県が集まり、行政庁との意見交換会を開いた。当日の出席者は、国土交通省大臣官房技術調査課 田中 貢 課長補佐、中国地方整備局 甲村謙友 局長ほか8名、四国地方整備局 菊池良介 企画部長ほか1名、島根県土木部長以下中国5県の各土木部幹部を交え、総勢50名で土木施工管理技士の重視活用、社会的地位の向上のため、その実現に向けて4項目を提案、要望を行った。

※ 提案事項は次の通り。

① 公共工事の品確法による総合評価落札方式について

施工状況による評価、問題点等の判断と今後の対応方針。県ほか地方自治体の対応と支援方策は如何。

② 土木施工管理技士の評価・活用について

技士会所属技士の自己研鑽実績者の評価と所属企業への評価対象となるよう提案。

③ 施工実績について

工事配置技術者の施工実績期間の延長を提案。また、県関係工事実績も同等を提案。

④ 一般競争入札方式の日程について

工事積算資料入手と入札日との関連仕組み改善を提案。



技術交流会 次第



技術交流会 行政庁出席者





# 技士会伝言板

会員の皆さんへのご案内、ご依頼ごとです。よろしく申し上げます。

## 土木施工管理技士会の 監理技術者講習のご案内

### ★ 技士会連合会の監理技術者講習のメリット ★

- ①受講料が従来より安価な10,800円です。平成19年度はさらに安価な10,500円になります。
- ②申込書に継続学習制度（CPDS）登録番号を記入するだけで、受講後に技士会の継続学習制度の学習履歴として登録加点されます。
- ③申込時にCPDS新規加入の方は、受講料にCPDS費用を上乗せして、CPDS登録番号記載箇所「新規」と記入して下さい。（新規加入と履歴登録が同時にできます!!）
- ④インターネット（<http://www.ejcm.or.jp>）申込みなら写真・書類の郵送は必要ありません。

### 1. 受講対象者

公共工事の監理技術者となる方（現場配置前に講習を受講しておくこと。）ただし、資格者証の「有する資格欄」に「認定」とされている方（大臣認定者）はこの講習の対象外。

### 2. 受講料

平成18年度 10,800円（テキスト代・講習修了証交付手数料、消費税含む）  
平成19年度 10,500円（テキスト代・講習修了証交付手数料、消費税含む）

### 3. 実施日・会場

平成19年1月18日（木） 平成19年2月15日（木）  
講習会会場 高知県教育会館「高知城ホール」 8時50分～16時40分  
平成19年4月14日（土） 平成19年7月7日（土） 平成19年9月15日（土）  
平成19年12月15日（土） 平成20年2月2日（土）  
講習会会場 高知県建設会館「4階ホール」 8時50分～16時40分  
※平成19年4月以降、受講料が10,500円となります。

### 4. 講習内容

建設工事に関する法律制度（最近の社会・経済情勢と技術者制度）  
建設工事の施工管理、その他の技術上の管理  
建設工事に関する最近の技術動向等  
修了試験（30分） ※修了試験後、講習修了証交付

#### 申込方法

- (1) 受講申込書
  - (2) カラー顔写真を貼った写真票
  - (3) 受講料の郵便振替払込請求書兼受領証のコピー
- ※ 申込書類・(1)～(3)を持参、または「配達記録郵便」で提出

#### 受講申込書提出先

(社)高知県土木施工管理技士会  
〒780-0870 高知市本町4丁目2-15 (TEL 088-825-1844)

# 平成19年度 1、2級土木施工管理技士試験と講習会のご案内

## ～ 土木施工管理技士をめざして～

(財)全国建設研修センターが建設業法に基づいて実施します「検定試験」、また、(社)高知県土木施工管理技士会が行います「受験準備講習会」を次のとおり予定しています。

なお、申込み用紙(願書)の販売方法、講習会への受講申し込み方法については、決定次第会員各位の所属会社にてご案内文書を発送いたします。

### － 実 施 予 定 －

#### ◎ 検 定 試 験



1級(学科)	申込受付 試験日	平成19年4月上旬～4月中旬(予定) 7月第1日曜(予定)
1級(実地)	申込受付 試験日	平成18年度学科試験合格者・学科試験免除者 平成19年4月上旬～4月中旬(予定) 平成19年度学科試験合格者 平成19年8月中旬～9月上旬(予定) 10月第1日曜(予定)
2級 (学科・実地同日)	申込受付 試験日	平成19年4月上旬～4月中旬(予定) 10月第4日曜(予定)

#### ◎ 受験準備講習会 (「検定試験」受験に備える講習会)

1級(学科)	日程	平成19年6月5日～7日 6月12日～14日	} (6日間)
会場	高知市		
受講料	会員：45,000円・一般：48,000円		
再受講者割引	(H17～18年度当講習会参加者) 会員：35,000円・一般：38,000円		

「実力テスト」	日程	平成19年6月16日 (1日間)
会場	高知市	
受験料	受験講習会参加者：6,000円 テストのみ参加者：8,000円	

1級(実地)	日程	平成19年9月6日～7日 (2日間)
会場	高知市	
受講料	会員：20,000円・一般：23,000円	
再受講者割引	(H18年度当講習会参加者) 会員：18,000円・一般：21,000円	

2級	日程	平成19年10月2日～4日 (3日間)
会場	高知市	
受講料	会員：30,000円・一般：33,000円	
再受講者割引	(H17～18年度当講習会参加者) 会員：25,000円・一般：28,000円	

「実力テスト」	日程	平成19年10月6日 (1日間)
会場	高知市	
受験料	受験講習会参加者：6,000円 テストのみ参加者：8,000円	

